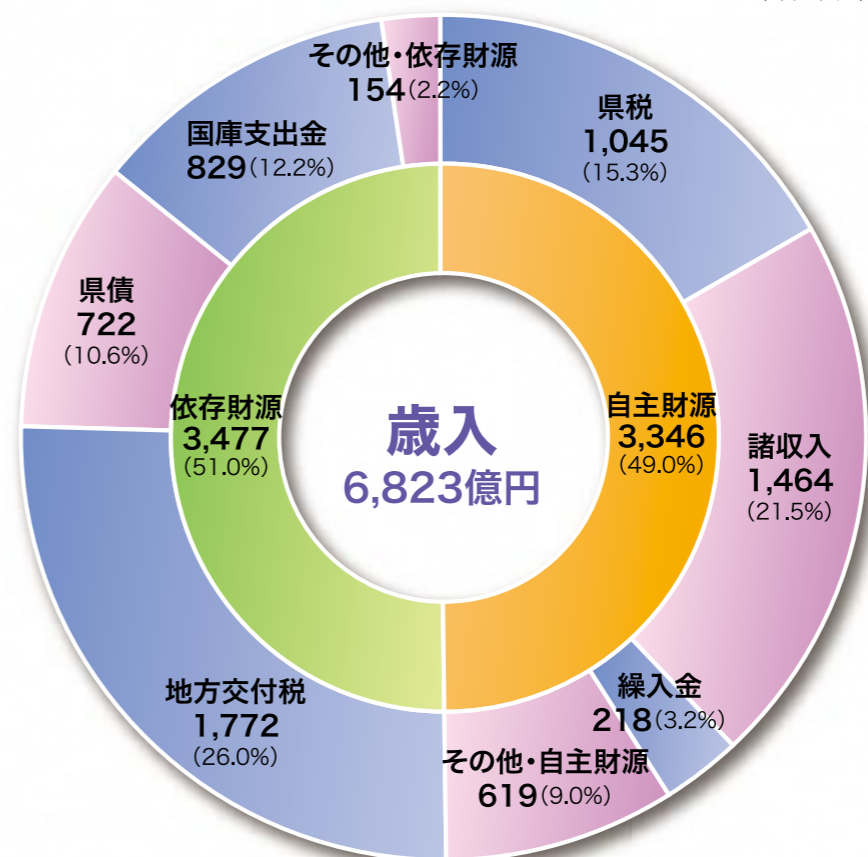
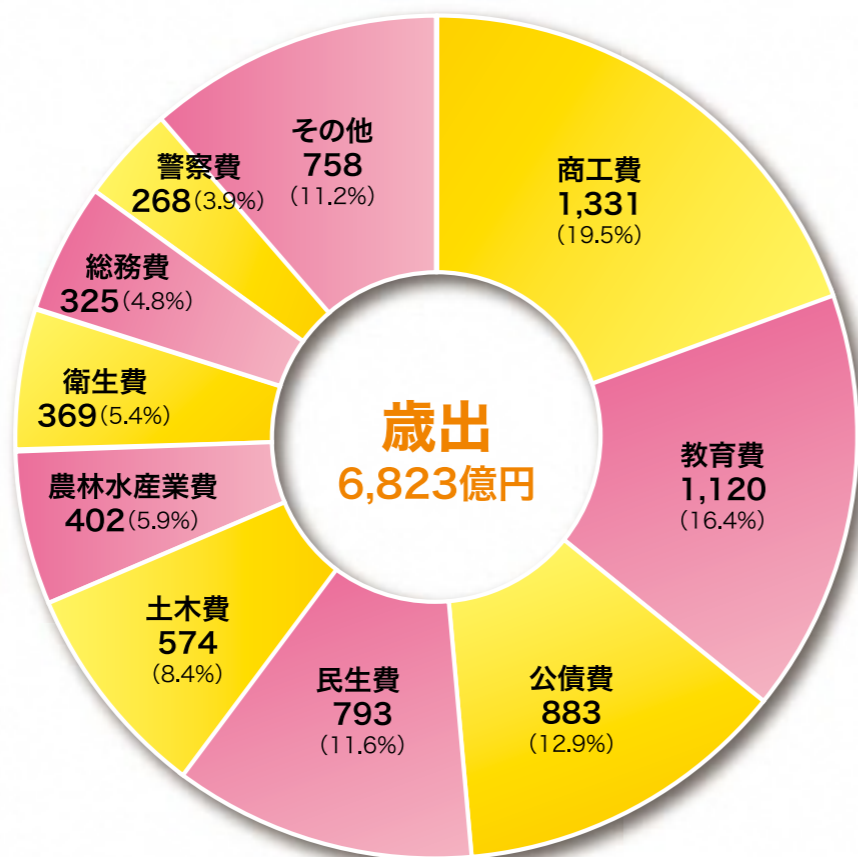


コロナ克服・未来創造予算

令和3年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいいきと調和し、真の豊かさ幸せを実感できる山形」の実現に向け、「令和3年度県政運営の基本的考え方」の5つの視点を重視しながら、「コロナを克服し、さらに輝かしい山形の未来を創るための予算編成と組織改正を行いました。

令和3年度当初予算（一般会計）の概要

(単位:億円)



用語解説



【歳入】

◎地方交付税…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金

◎県債…災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金

◎国庫支出金…農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

◎自主財源…県税など、県が自ら収入する財源

◎依存財源…国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】

◎公債費…県債返済などに使うお金

◎民生費…生活保護などの社会保障のためのお金

◎衛生費…医療や健康増進、環境保全などのためのお金



視点①

ふるさと山形力の向上

〜郷土愛を醸成し、みらい創造にチャレンジする環境づくり〜

【施策の方向性】

- 本県の豊かな地域資源を活用した移住・定住の促進
- テレワークなど働き方改革の推進と女性の賃金向上
- 幸せな子育て・質の高い教育環境の整備
- 文化芸術・スポーツに親しむ環境づくり

【主要な事業】

NEW 全国初
◆子育て費用の完全無償化に向けた段階的な支援
 11億2千7百万円

「子育てするなら山形県」の実現に向けて、子育て費用の段階的な無償化に取り組んでいきます。出産費用の負担軽減のため、平均出産費用と出産育児一時金の差額の2分の1程度を市町村と連携して給付する「出産支援給付金」を創設します。また、0〜2歳児の保育料について、子育て世帯の負担軽減を段階的に図ります。さらに、私立高等学校等の授業料軽減のための支援額を拡充します。

NEW

◆女性の賃金向上への支援
 1億2千万円

女性の賃金の底上げや正社員雇用を促進するため、若年女性の非正規雇用労働者の賃金引き上げや、正社員への転換を行う事業者に対し、支援金を支給します。

NEW

◆発達障がい児の初診待機期間を短縮
 2千3百万円

こども医療療育センターに常勤医師を1名増員するとともに、県内4地域において公認心理師による発達検査を行い、早期から支援する体制を構築することで、初診待機期間を短縮します。



「子育てするなら山形県」の実現へ